

ネットワークカメラ

ユーザーマニュアル

XNB-6002/
SLA-T1080FA/SLA-T2480A/SLA-T2480VA/SLA-T2880BA/
SLA-T4680A/SLA-T4680VA/SLA-T4680DA/SLA-T4680DSA

ネットワークカメラ ユーザーマニュアル

Copyright

©2022 Hanuwa Vision Co., Ltd. All rights reserved.

商標について

本書に記載されている各商標は登録済みです。本書に記載されている本製品の名称およびその他の商標は、各社の登録商標です。

制約について

本書の著作権は留保されています。どのような状況であっても、本書の一部または全体を複製、配布または変更するには、正式な認可が必要です。

免責事項について

Hanuwa Vision はマニュアルの完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。このマニュアルの使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになります。Hanuwa Vision は事前の通知なしにこのマニュアルの内容を変更する権利を留保します。

※ 設計および仕様は予告なく変更する場合があります。

※ デフォルトの管理者IDは“admin”です。パスワードは初めてログインするときに設定する必要があります。
個人情報や安全に保護し、情報窃盗による被害を防ぐため、パスワードは3か月ごとに変更してください。
パスワードの不正管理によって発生したセキュリティおよびその他の問題は、ユーザー側の責任であることに御注意ください。

重要な安全ガイド

1. 本書の説明をよく読んで下さい。
2. 本書の指示を守ってください。
3. 全ての警告を留意してください。
4. 全ての指示に従って下さい。
5. 本機を水の傍で使用しないで下さい。
6. 柔らかく乾いた布か湿った布で製品表面の汚れた部分を拭き取ります。
(アルコール成分、溶剤、界面活性剤や油分を含む洗剤や化粧品を使用しないでください。製品の変形や損傷につながる恐れがあります。)
7. どの換気孔も塞がないようにして下さい。メーカーの指示に従って取り付けして下さい。
8. ラジエーター、熱レジスタ、あるいは熱を発生するその他の装置（アンプを含む）などの熱源の傍に設置しないで下さい。
9. 分極タイプあるいは接地タイプのプラグの安全目的を必ず守ってください。分極プラグには一方が他方より幅広い2本の足が付きます。接地プラグには2本の足とアース（接地）差込み先が付いています。2本の平たい足あるいは3本めの差込み先はユーザーの安全のために付いています。提供されたプラグがお使いのコンセントに合わない場合には、旧式のコンセントの交換について電気技師にご相談下さい。
10. 特にプラグ、ソケット、機器との接点でコードが踏まれたり引っ張られたりしないよう電源コードを保護してください。
11. メーカーが指定する付属品のみを使用してください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケットはメーカー指定のもの、あるいは製品と一緒に販売されたもののみを使用してください。カートを使用する場合、カートと製品を動かす際には転倒による損傷に注意してください。
13. 雷雨のときまたは長期間使用しない場合は、製品の電源プラグを抜いてください。
14. 全ての修理は資格のあるサービス・スタッフに任せて下さい。修理は電源コードあるいはプラグの損傷、液体をこぼした、または物体を機器内に落としてしまった、機器を雨や湿度にさらしてしまった、正常に機能しない、あるいは機能の低下など、様々な原因で機器が損傷した場合に必要となります。
15. この製品は、「クラス2」または「LPS」と表示があり、12 Vdc、0.72 A / PoE、0.22A の記載電源ユニットにより電気供給が行われるものとします。(XNB-6002)
16. このレンズモジュールは「Class 2」または「LPS」と表示された電源供給デバイスによって供給されるデバイスと接続される必要があります。(SLA-T1080FA/SLA-T2480A/SLA-T2480VA/SLA-T2880BA/SLA-T4680A/SLA-T4680VA/SLA-T4680DA/SLA-T4680DSA)
17. 本製品接続の外部電源は、絶縁電源を使用してください。
18. 製品取り付け時に力を入れ過ぎると、カメラが損傷し、誤作動を起こす場合があります。適切なツールを使用して製品を力まかせに取り付けると、カメラが損傷する場合があります。
19. 化学物質やオイルミストが存在する、または生成される可能性のある場所には製品を取り付けしないでください。大豆油のような食用油によって製品が損傷を受けたりゆがんだりするため、キッチンやキッチンテーブル付近には製品を取り付けしないでください。製品に損傷を与える原因となります。
20. 製品を取り付ける場合、製品表面が化学物質で汚染されないように注意してください。クリーナーや接着剤のような化学溶剤は、製品表面に深刻な損傷を与える原因となります。
21. 推奨されない方法で製品を取り付け/取り外した場合、製品の機能/性能は保証できません。ユーザーマニュアルの“取付けと接続”を参照して製品を取付けます。



22. 水中での製品の取付けや使用は、製品への深刻な損傷の原因となります。
23. 本デバイスはSTPケーブルを使用して検証されました。過渡電圧、落雷、通信妨害から効果的に製品や資産を保護するために適切なGND接地とSTPケーブル使用をお勧めします。

警告

火災または感電防止のため、この装置を雨または湿気にさらさないでください。本製品の換気グリルまたはその他の開口部から金属製物質を差し込まないでください。

製品に液体をこぼしたりかけたりせず、また花瓶のように液体が入った物体を製品の上に載せたりしないでください。

損傷を防止するため、本製品を設置説明に従って壁/天井にしっかりと取り付けてください。

注意

	注意 感電の危険がありますので開けないで下さい	
注意: 感電の恐れがありますので裏カバーは開けないで下さい。 如何なる場合にも本品の分解や改造を行わないで下さい。 資格のあるサービス・スタッフにお問い合わせ下さい。		

グラフィック記号の説明



正三角形内の稲妻型の矢印は、本製品の筐体に人が感電する恐れのある“高圧電流”が存在することを、ユーザーに警告するものです。



正三角形内の感嘆符は、製品の操作およびメンテナンス(修理)に関する重要な付属説明書があることをユーザーに知らせるものです。

クラス I 構造

クラス I 構造を持つ装置は保護接地接続のある本線ソケットに接続してください。

バッテリー

電源(バッテリーパックまたは取り付けた状態のバッテリー)は直射日光の当たる場所や、熱器具の近くには置かないでください。

バッテリーは交換できません。

デバイスの切断

問題がある場合は、装置からメインプラグを抜きます。次にお住まいの地域の修理会社に電話してください。

米国外では、認証機関が採用している取付け金具用のHARコードが使用される場合があります。

注意

電池を間違ったタイプと交換すると爆発の危険性があります。指示に従って使用済み電池を処分してください。

これらの保守説明書は、資格のあるサービススタッフのみが使用するものです。感電の危険性を低減するために、資格がある場合を除き操作説明書に含まれていない修理は行わないでください。

本製品のテストモニター出力ポートは、外部デバイスとのインストールを容易にするために提供されており、監視目的にはお勧めできません。

本製品のMicro USBポートは、外部デバイスとのインストールを容易にするために提供されており、監視目的にはお勧めできません。

入力電源は1台のカメラにのみ使用し、他のデバイスを接続しないでください。

電源ターミナルブロックを接続する前、電源プラグはコンセントから外してください。

ITEは、外部の施設ヘルレーティングなしで、PoEネットワークのみに接続することになっています。

次に示す安全のための推奨注意事項を熟読してください。

- 本製品は平らな場所に置いてください。
- 直射日光の当たる場所、暖房設備または低温区域の近くには取付けしないでください。
- 本製品を導電性の高い物体の近くに置かないでください。
- 本製品は自分で修理しないでください。
- 本製品の上に水の入ったコップを置かないでください。
- 磁気源のそばに取付けしないでください。
- 換気口は塞がないようにしてください。
- 本製品の上に重いものを置かないでください。
- カメラを取り付ける/取り外すときは、保護手袋を着用してください。製品表面は高温になるため、やけどの原因となる場合があります。

ユーザーマニュアルは、本製品の使用方法に関するガイドブックです。

このマニュアルで使用する用語の意味を次に示します。

- 参照: 製品の使用方法についてのヘルプ情報を示す場合。
 - 注意: 指示に従わないことで、ものや人に損害が発生する可能性がある場合。
- ※ 製品を使用する前に安全のためこのマニュアルを読み、大切に保管しておいてください。

当社は別途に購入した他社の製品(レンズ、アクセサリ)に対する品質は保証いたしません。

特定なインストール環境で無線通信に干渉が発生する場合があります。製品と周囲の無線通信デバイスの間に電磁波干渉が発生する場合、無線通信デバイスとの間隔を拡張したり、通信用のアンテナ方向を調整することをお勧めします。

製品の取付許容高さは 2 M以下です。

3	概要	3	重要な安全ガイド
		6	推奨する PC 仕様
		6	推奨マイクロSD/SDHC/SDXCメモリカード仕様
		6	NAS推奨仕様
		6	ビデオ出力
		7	キット内容 (XNB-6002)
		7	キット内容 (レンズモジュールオプション)
	12	概観	

14	取付けおよび接続	14	取付け
		18	マイクロSDメモリカードの挿入/取出し
		19	他のデバイスとの接続

22	ネットワーク接続と設定	22	カメラを直接ローカルネットワークに接続する
		22	カメラを直接DHCPベースのDSL/ケーブルモデムに接続する
		23	Device Managerを使用する
		23	自動にカメラを検索する
		23	IPアドレスを設定する
		24	手動でカメラを登録する
		24	自動にIPを設定する
		25	ポートフォワード (ポートマッピング) の設定
		26	共有ローカルPCからカメラへの接続
		26	リモートPCからインターネット経由でのカメラへの接続

27	WEB VIEWER	27	カメラへの接続
		28	パスワード設定
		28	ログイン
		28	カメラ・ウェブビューアーの設定

29	付録	29	トラブルシューティング

概要

推奨する PC 仕様

- CPU : Intel(R) Core(TM) i7 3.4 GHz以降
 - RAM : 8G以上
 - 推奨するブラウザ:Chrome
 - サポートするブラウザ:Chrome, Safari, Firefox, MS Edge(chromium based)
 - 対応OS : Windows, Mac, Linux, Android, iOS, Chrome
 - 検証環境
 - Windows 10:google chrome/バージョン80以上、Firefox/バージョン72以上、MS edge/バージョン83以上
 - Mac 10.13/14:safari/バージョン11.0.1以上
- ※ ウェブビューアのビデオ再生性能はユーザーのCPU/GPU性能に基づく。

推奨マイクロSD/SDHC/SDXCメモ리카ード仕様

- 推奨容量 : 推奨容量:16GB～1TB(MLCまたは3D TLCタイプ必須)
- 推奨製造会社:SanDisk, Transcend, Samsung, Western Digital
- 製品群:High endurance、Pro endurance、WD Purple
- カードの製造会社別/タイプ別の互換性は異なる場合があります。

NAS推奨仕様

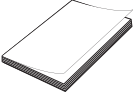
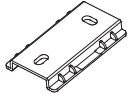
- 推奨容量 : 200GB又はそれ以上を推奨します。
- このカメラのために、NASを以下の製造仕様で利用することを推奨します。
推奨製品 : QNAP NAS, Synology NAS

ビデオ出力

- ビデオ出力のCVBSタイ初期設定は、NTSCです。エリアによって異なるため、下記のパスを参考して設定値を変更してください。
カメラウェブビューアーの<設定()> → <映像&音声> → <ビデオ設定> → <ビデオ出力> → <CVBSタイプ> メニューでNTSCまたはPALを選択してください。

キット内容 (XNB-6002)

製品パッケージに、カメラと付属品がすべて同梱されていることをご確認ください。
(販売国ごとに付属品が異なるため。)

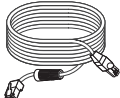
外観	品目名	数量	説明
	本体	1	
	クイックガイド (オプション)	1	
	設置用のブラケット	1	本体を天井または壁に固定するために使用します。
	電源端子台	1	電源端子に挿入して使用します。
	アラーム端末ロック	1	アラーム出力端末に挿入して使用します。
	タッピングスクリュー	2	ブラケットを壁または天井に取り付けるために使用します。
	テストモニターケーブル	1	ポータブルディスプレイデバイスとカメラとの接続をテストするために使用します。

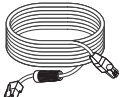
キット内容 (レンズモジュール-オプション)

XNB-6002に搭載して使用する別売り品のレンズモジュールです。
製品パッケージに、カメラと付属品がすべて同梱されていることをご確認ください。
(販売国ごとに付属品が異なるため。)

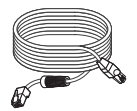
型名	外観	品目名	数量	説明
SLA-T1080FA		レンズモジュール	1	
		クイックガイド (オプション)	1	
		レンズモジュールを取り付けるナット	1	天井または壁にレンズモジュールを固定するために使用します。
		レンズモジュールを接続するケーブル	1	メインユニットとレンズモジュールを接続する際に使用します。
		RJ12プラグ	1	レンズモジュールに接続するケーブルの長さを調整する際に使用します。

概要

型名	外観	品目名	数量	説明
SLA-T2480A		レンズモジュール	1	
		クイックガイド (オプション)	1	
		タッピングスクルー	2	ブラケットを壁または天井に取り付ける ために使用します。
		ケーブルタイ	1	ケーブルを束ねるために使用します。
		レンズモジュール取付け用ブ ラケット	1	天井または壁にレンズモジュールを取 り付け、固定する際に使用します。
		レンズモジュールを接続する ケーブル	1	メインユニットとレンズモジュールを接 続する際に使用します。
		RJ12プラグ	1	レンズモジュールに接続するケーブル の長さを調整する際に使用します。

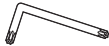
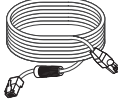
型名	外観	品目名	数量	説明
SLA-T2480VA		レンズモジュール	1	
		クイックガイド (オプション)	1	
		レンズモジュールブラケット	1	レンズモジュールの取付けに使用し ます。
		レンズモジュールを接続す るケーブル	1	メインユニットとレンズモジュールを 接続する際に使用します。
		RJ12プラグ	1	レンズモジュールに接続するケーブ ルの長さを調整する際に使用します。
		固定用ネジ	1	BRACKETを使用する場合に使用

型名	外観	品目名	数量	説明
SLA-T2880BA		レンズモジュール	1	
		クイックガイド (オプション)	1	
		レンズモジュールブラケット	1	レンズモジュールの取付けに使用します。
			1	
			1	
			1	
		固定用ネジ	3	床設置用のブラケットを取り付ける時に使用
		スクリュー	2	パイプブラケットを取り付ける時に使用

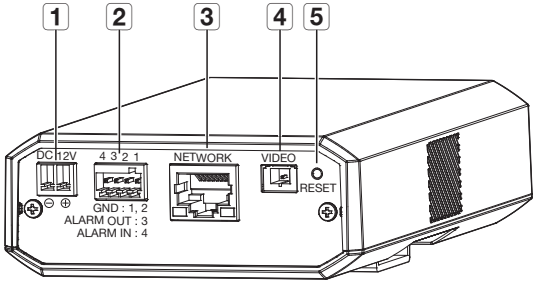
型名	外観	品目名	数量	説明
SLA-T2880BA		両面テープ	5	ガラス面にブラケットを固定する時に使用
		付着面クリーナー	1	ブラケット付着面の汚染物質を除去する時に使用
		ネジカバー	4	床に設置する時、タッピングネジ穴カバーとして使用
		レンズモジュールを接続するケーブル	1	メインユニットとレンズモジュールを接続する際に使用します。
		RJ12プラグ	1	レンズモジュールに接続するケーブルの長さを調整する際に使用します。

型名	外観	品目名	数量	説明
SLA-T4680A		レンズモジュール	1	
		クイックガイド (オプション)	1	
		タッピングスクリュー	2	ブラケットを壁または天井に取り付ける ために使用します。
		ケーブルタイ	1	ケーブルを束ねるために使用します。
		レンズモジュール取付け用ブ ラケット	1	天井または壁にレンズモジュールを取り 付け、固定する際に使用します。
		レンズモジュールを接続する ケーブル	1	メインユニットとレンズモジュールを接続 する際に使用します。
		RJ12プラグ	1	レンズモジュールに接続するケーブルの 長さを調整する際に使用します。

型名	外観	品目名	数量	説明
SLA-T4680VA		レンズモジュール	1	
		クイックガイド (オプション)	1	
		レンズモジュールブラケット	1	レンズモジュールの取付けに使用します。
		レンズモジュールを接続する ケーブル	1	メインユニットとレンズモジュールを接続 する際に使用します。
		RJ12プラグ	1	レンズモジュールに接続するケーブルの 長さを調整する際に使用します。

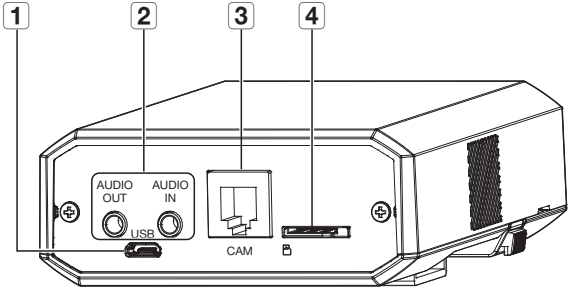
型名	外観	品目名	数量	説明
SLA-T4680DA/ SLA-T4680DSA		レンズモジュール	1	
		クイックガイド (オプション)	1	
		レンズモジュールブラケット	1	レンズモジュールの取付けに使用します。
		Torx Lレンチ	1	ブラケットの取り外し及び取り付けの時に使用
		スクリュー	1	レンズモジュールの方向を固定する時に使用
		レンズモジュールを接続する ケーブル	1	メインユニットとレンズモジュールを接続する際に使用します。
		RJ12プラグ	1	レンズモジュールに接続するケーブルの長さを調整する際に使用します。

本体前部



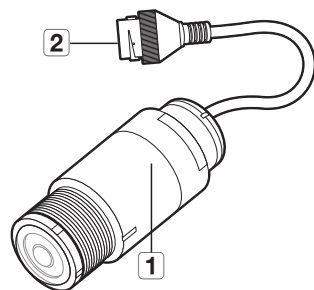
項目	説明	
1 電源ポート(DC 12V)	電源端子台用ポート。	
	GND	アース端子
2 アラーム入・出力ポート	ALARM OUT	アラーム出力信号が端末により送信されます。 "アラーム出力配線図"(21ページ)を参照してください。
	ALARM IN	アラーム入力信号が端末により送信されます。 "アラーム入力配線図"(21ページ)を参照してください。
3 ネットワークポート	PoEまたはLANにRJ-45ケーブル経由で接続するために使用する端末です。	
4 テストモニター出力ポート	ビデオ出力のテスト監視用出力ポートです。テストモニターケーブルを使用して、モバイルディスプレイに接続し、テストビデオをチェックします。	
5 リセットボタン	このボタンを押すと、カメラ設定がすべて、工場出荷時の初期設定に戻ります。約5秒間押し続けると、システムが再起動します。 ■ カメラをリセットすると、DHCPを有効化されるようにネットワーク設定が調整されます。ネットワーク内にDHCPサーバーがない場合は、Device Managerプログラムを用いて基本的なネットワーク設定(IPアドレス、Subnet Mask、Gatewayなど)を再設定してから接続することができます。	

本体後部

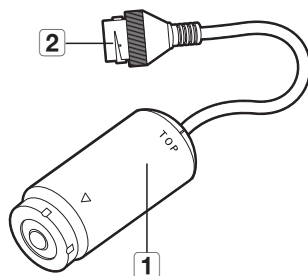


項目	説明	
1 MICRO USBポート	Wi-Fi Dongleに接続するポート スマートフォンにインストールしたアプリケーションを通じてインストールビデオを確認できます。 20ページの"Wi-Fi接続"を参照します。 ■ Wi-Fi DongleとOTGアダプタは別売りです。	
2 音声ケーブルポート	AUDIO IN	マイクの接続に使用します。
	AUDIO OUT	スピーカーの接続に使用します。
3 レンズモジュールの接続端子	端子は、レンズモジュールに接続するケーブルを通してレンズモジュールに接続します。	
4 マイクロSDカードの区画	マイクロSDカードの区画。	

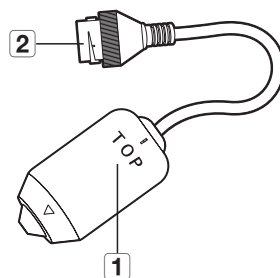
レンズモジュールの外観



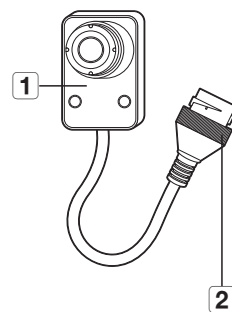
<SLA-T1080FA>



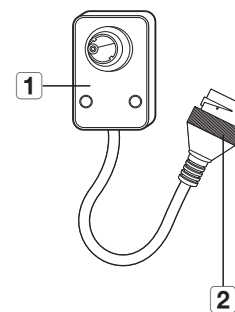
<SLA-T2480A>



<SLA-T4680A>



<SLA-T2480VA>



<SLA-T4680VA>

項目	説明
1 レンズモジュール	このレンズモジュールはビデオ撮影を行うために使用します。
2 メインユニット接続端子	この端子は、レンズモジュールに接続するケーブルを通してメインユニットに接続します。

取付けおよび接続

取付け

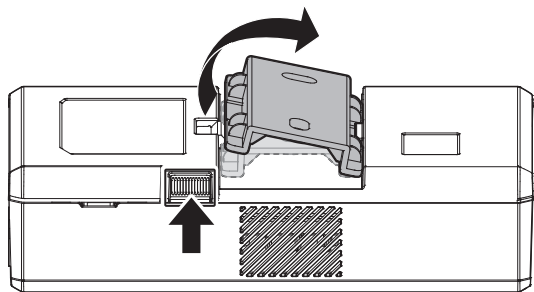
取付けに関する注意事項

カメラを取り付ける前に、以下の指示をよく読んでください。

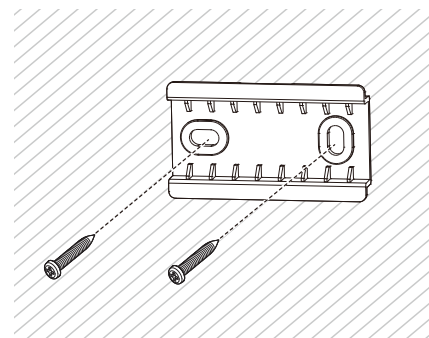
- カメラ取り付け中にレンズモジュールに過剰な負担がかからないようにするため、ケーブルを別途固定します(カメラ本体から1m以内)。
- カメラの重量の5倍以上の重さを固定できる取付け場所を選んでください。
- 引っかかっていたり、はがれたケーブルは製品の損傷または火災の原因となります。
- 安全のため、設置場所に人を近づけないでください。
また、万が一のため持ち物は取付け場所には置かないでください。
- レンズモジュールを搭載または分離する時には電源をオフにしてから行ってください。

本体の取り付け

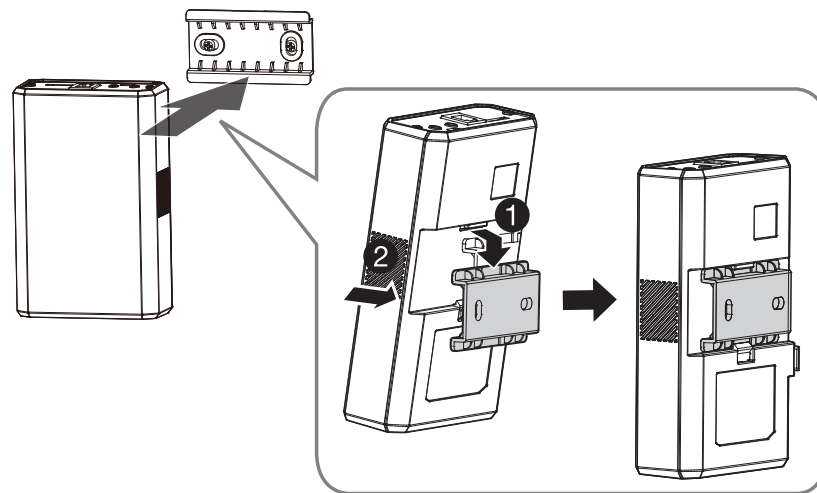
1. Main Unitを天井・壁面などに設置する前に、図のように設置用ブラケットをMain Unitから取り外してください。



2. 同封のタッピングネジ2本を使ってブラケットを壁面に設置してください。



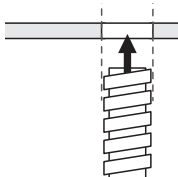
3. Main Unitのツメをブラケットの上側の溝に引っ掛け、カチッという音がするまで押し付けてください。



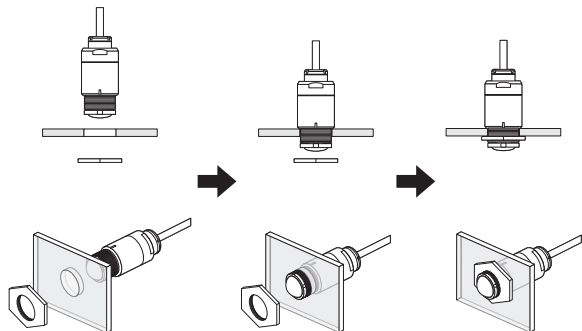
レンズモジュールを取り付けます (SLA-T1080FA)

1. レンズモジュールを取り付ける場所で、レンズが貫通できるように穴を開けます。

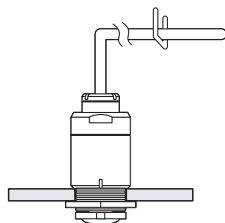
■ 穴のサイズ(内径): $\varnothing 30 \pm 2\text{mm}$
(穴のサイズがこの範囲以外である場合、取り付けがうまくいかない場合があります。)



2. レンズモジュールを穴に挿入してから、付属ナット(M27)を使用してレンズモジュールを固定します。



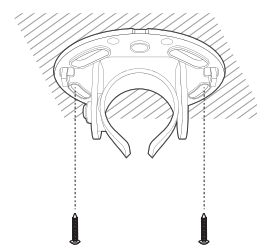
3. ケーブルを個別に固定します。(レンズモジュールから1m以内)



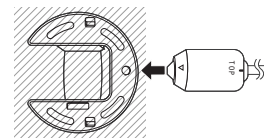
レンズモジュールを取り付けます (SLA-T2480A/SLA-T4680A)

1. 付属するねじ2本を使用するか、レンズモジュールブラケット底面の両面テープ保護フィルムを取り除き、レンズモジュールブラケットを取り付けます。

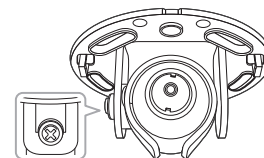
■ 貼り付ける前に、対象オブジェクトの異物を取り除きます。



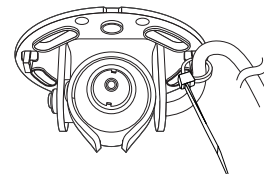
2. レンズモジュールをブラケットに押し込みます。
3. モニターの方向に気をつけながら、レンズが任意の方向に向かように調整します。



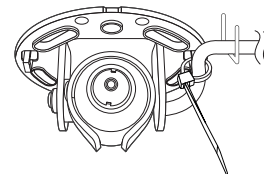
4. ブラケットの隣にあるねじを締め、レンズ方向を固定します。



5. 取付けが完了したらケーブルを引っ張り、レンズモジュールがケーブルタイによってブラケットに固定され、動かないことを確認します。



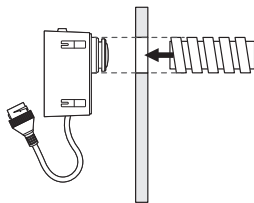
6. カメラ取り付け中にレンズモジュールに過剰な負担がかからないようにするため、ケーブルを別途固定します(カメラ本体から1m以内)。



取付けおよび接続

レンズモジュールを取り付けます (SLA-T2480VA/SLA-T4680VA)

1. 取り付け位置に、カメラ用の穴を開けます。

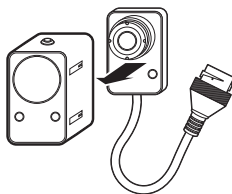


2. レンズモジュールブラケットの両面テープ保護フィルムを取り除き、穴に合わせて貼り付けます。

- 貼り付ける前に、対象オブジェクトの異物を取り除きます。

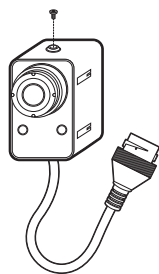


3. レンズモジュールブラケットにレンズモジュールを挿入します。

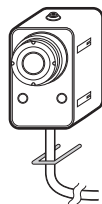


4. ブラケットのねじ穴にねじを締め付けます。

- これはSLA-T2480Vにのみ該当します。



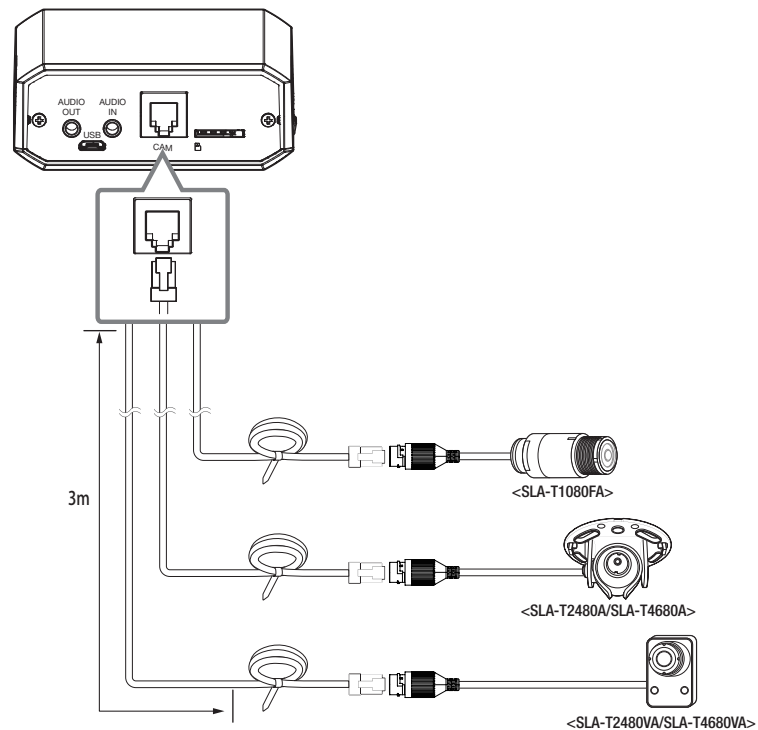
5. カメラ取り付け中にレンズモジュールに過剰な負担がかからないようにするため、ケーブルを別途固定します(カメラ本体から1m以内)。



メインユニットにレンズモジュールを取付けます

本体側面の[CAM]ポートにレンズモジュールケーブルを接続してください。

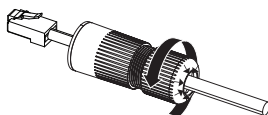
- レンズモジュールを接続し、オンにします。
- レンズモジュールを接続または取り外す場合は、本体装置の電源をオフにします。
- 本体からレンズを3m以上離隔して設置し、3m以内にはケーブルを整形しないことをお勧めします。



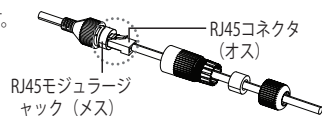
レンズモジュールケーブルをレンズモジュールに接続します

1. 反時計回りに回して、背面カバーを取り外します。

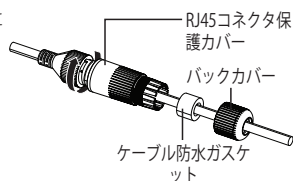
■ 必ず最初に背面カバーを取り外してから、RJ45コネクタを組み立て/取り外します。



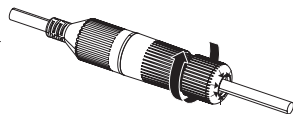
2. RJ45モジュージャック（メス）をRJ45コネクタ（オス）に接続します。



3. RJ45モジュージャック（メス）とRJ45保護カバーを時計回りに回転させて組み立てます（矢印に従う）。



4. RJ45保護カバーとバックカバーを時計回りに回転させて組み立てます（矢印に従う）。バックカバーを組み立てるとき、ケーブル防水ガスケットをケーブルにしっかり取り付け付けて防水します。

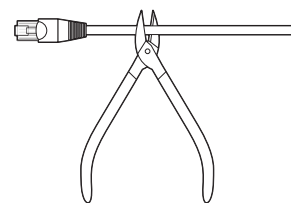


■ これを完全に組み立て、RJ45コネクタのねじ山の端までバックカバーを回転させます。

レンズモジュール接続用のケーブルの長さを調整します

メインユニットとレンズモジュール接続用のケーブル長さを調整することができます。接続用ケーブルの長さを調整するには、次の順序に従ってください。

1. 希望する長さでRJ12 Plugからケーブルをカットします。



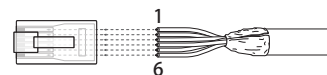
2. カットしたケーブル端の被覆を剥き取ります。



3. 銀箔を剥がし取り、後ろにまくりします。

4. 以下の順序で色付きワイヤーをまっすぐ伸ばします。

数字	カラー
1	ブラック
2	レッド
3	ブルー
4	オレンジ
5	ホワイト
6	グリーン



5. アクセサリとして付属するRJ12 PLUGの端に電線を挿入します。



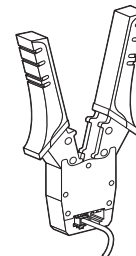
6. 圧着工具を使用してケーブルにPLUGを固定します。

7. 長さを調整した後、PLUG裏側の残りの銀箔を取り除きます。

■ 必ずRJ12 Plug部分をカットし、長さを調整してください。

■ ワイヤーのカラーと順序は、表に記載の内容と必ず一致するようにしてください。

■ ケーブルの銀箔と処理したRJ12 PLUGの金属シールドが正しく接触していることを確認してください。



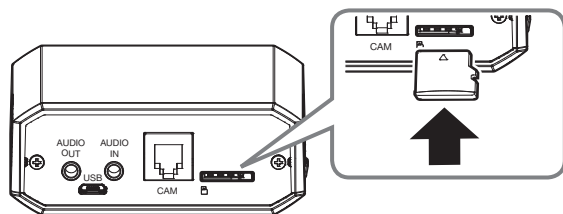
取付けおよび接続

マイクロSDメモ리카ードの挿入/取出し

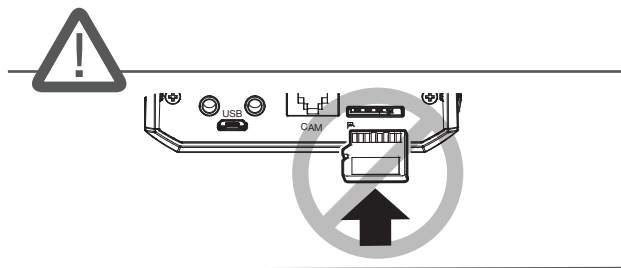
- マイクロSDメモ리카ードを挿入する前に、カメラの電源ケーブルを抜いてください
- 雨あるいは高湿度の状態でMicroSDカードを挿入したり取り出したりすることは推奨されません。

マイクロSDメモ리카ードの挿入

図のように、MicroSDカードを矢印方向へ挿入します。

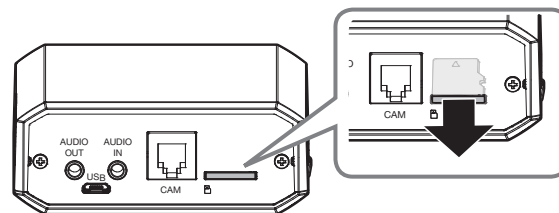


- 上下反対のままマイクロSDメモ리카ードを無理に挿入しないでください。
無理に差し込むと、マイクロSDメモ리카ードが破損する恐れがあります。



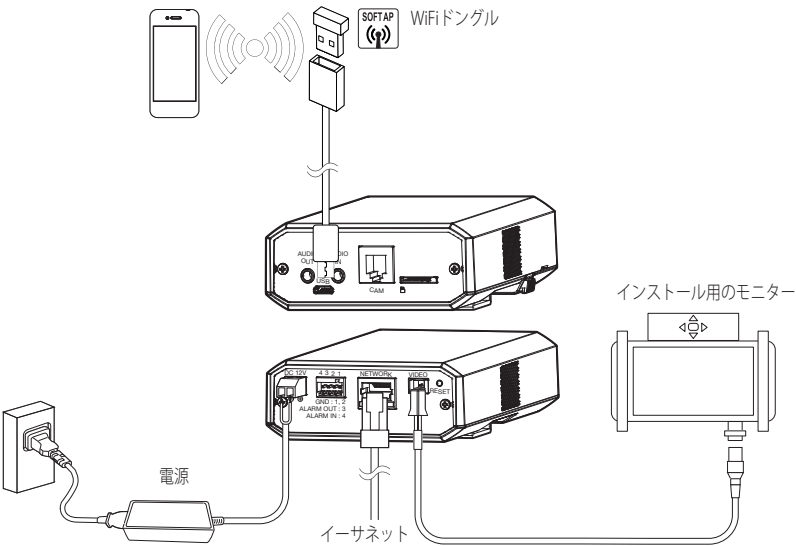
マイクロSDメモ리카ードの取出し

図に示されているように、メモ리카ードの露出部分を慎重に押して、スロットからメモ리카ードを取り出します。



- MicroSDカードを取り外す前に、<設定(⚙)>-<イベント>-<ストレージ>でデバイスを<Off>に設定し、[適用]ボタンを押してカメラをオフにします。
- カメラのスイッチを切るか、データの入っているMicroSDカードを製品から抜くと、データが失われるか、または損傷を受ける場合があります。

他のデバイスとの接続



- 本製品のテストモニター出力ポートは、外部デバイスとのインストールを容易にするために提供されており、監視目的にはお勧めできません。
- 本製品のMicro USBポートは、外部デバイスとのインストールを容易にするために提供されており、監視目的にはお勧めできません。

イーサネット接続

イーサネットケーブルをローカルネットワークもしくはインターネットに接続します。

電源

ドライバーを使用して、電源ケーブルの各線(+,-)をカメラの対応する電源ポートに接続します。

- PoE、DC 12V電源を同時投入すると、デバイス電源はPoE、DC 12Vに同時動作します。
 - また、PoE対応ルーターを使用して、カメラに電源を供給することもできます。
 - IEEE 802.3afプロトコルに準拠したPoEを使用してください。
- 電源ケーブルの接続時に、極性を逆にしないようご注意ください。
- 外部デバイスを接続する場合は、作業を進める前に外部デバイスの電源を切る必要があります。
- セットとアダプター電源ラインを最初に接続し、その次に電源ケーブルを壁のコンセントに接続します。

電源ケーブル仕様

直流12V入力の場合:

ワイヤータイプ(AWG)	#20	#18
ケーブルの長さ(最長)	18 m	29 m

ネットワークケーブルの仕様

アイテム	コンテンツ	備考
コネクタ	RJ45	
イーサネットケーブル	10/100BASE-T	10/100 Mbps
ケーブル	カテゴリ 5e	
最大距離	100m	DC抵抗 ≤ 0.125 Ω/m
PoE サポート	IEEE 802.3af	

- カテゴリ5e標準以外のケーブルを使用する場合、100mの伝送距離は保証されません。

取付けおよび接続

WiFi接続

カメラ設定

1. OTGアダプタ (5ピン) とWiFiドングルをMicro USBポートに接続します。

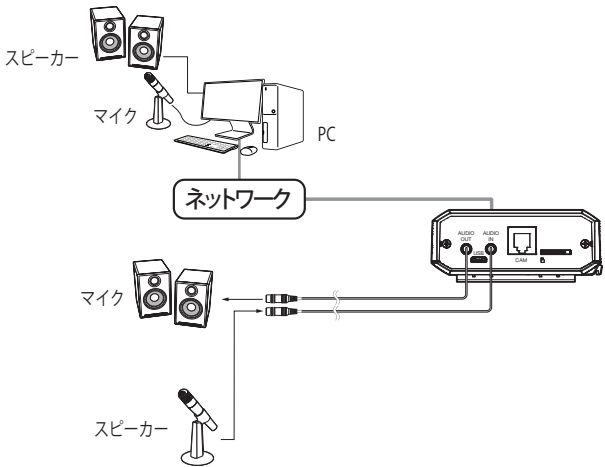
スマートフォン設定

1. Wisenetインストールアプリケーションをインストールします。
2. WiFiをオンにしてからカメラのSSIDを選択します。
3. Wisenetインストールアプリケーションを起動します。
4. カメラにログインすると、ビデオに接続されます。
 - 初期接続中は、ログインしていなくてもビデオが再生されます。
5. スマートフォンでビデオを視聴しながら、画角を調整することができます。

推奨するドングル製造業者

製造業者	モデル
NETIS	WF2123 n300
EDIMAX	EW-7811Un V2 (新規バージョン)
IP Time	N100mini
IP Time	N105L
TP-LINK	TL-WN823N V1
TP-LINK	TL-WN725N
TP-LINK	T2U Nano
ASUS	USB-N13
ASUS	USB-N10 NANO
NETGEAR	WNA3100M
IODATA	WN-G150UMW
IODATA	WN-S150UM
TOTOLINK	N300UM

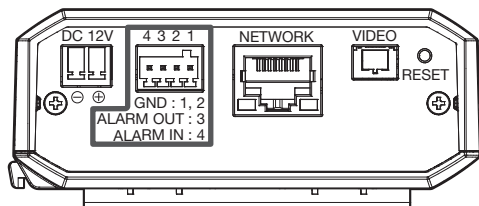
音声入力/出力への接続



1. カメラのAUDIO INポートにマイクか、マイクが接続されているアンプのLINE OUTポートを接続します。
 2. カメラのAUDIO OUTポートにスピーカーか、スピーカーが接続されているアンプのLINE INポートを接続します。
 3. 音声入力の仕様を確認します。
- 音声コーデック
 - 音声入力: G.711PCM (ビットレート: 64kbps / サンプリング周波数: 8kHz)、G.726ADPCM (ビットレート: 16Kbps、24Kbps、32Kbps、40Kbps / サンプリング周波数: 8kHz)、AAC (Bit Rate: 48Kbps / Sampling Frequency: 16kHz)
 - 音声出力: G.711PCM (ビットレート: 64kbps / サンプリング周波数: 8kHz)
 - 全二重音声
 - 音声入力: 選択可能 (マイク/ライン入力)、サポートされる電圧: 2.5VDC (4mA)、入力インピーダンス: 2K オーム
 - 音声出力: Line-out (3.5mmモノジャック)、最大出力: 1Vms
 - インピーダンスライン出力: 600Ω

I/Oポートボックスへの接続

アラーム入・出ケーブルを、ポートボックスの対応部分と接続してください。

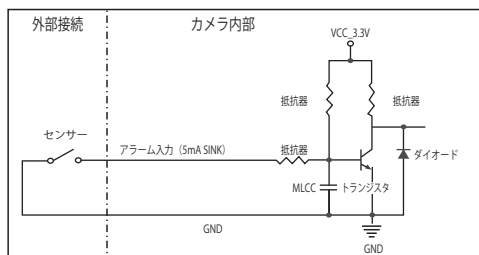


- GND : 接地用のポートです。
- ALARM-OUT : アラーム出力信号の接続に使用します。
- ALARM-IN : アラーム入力センサーや外部デイ/ナイトセンサーを接続するために使用します。

外部センサーの接続

センサーの名信号ライン(2つより)の一方を[ALARM IN]ポートに接続し、もう一方を[GND]ポートに接続します。

アラーム入力配線図

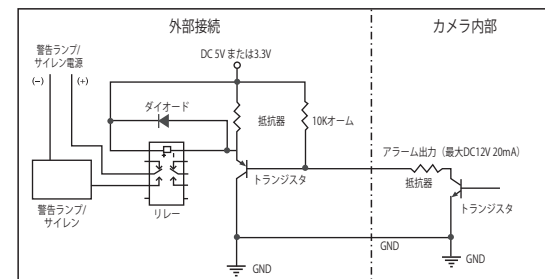


アラーム出力を接続するには

電圧と電流が規格外のデバイス（例：閃光灯やサイレン）をオープンコレクタ方式で接続すると、故障の原因となる場合があります。

電圧と電流が使用設定値を超えるデバイスを接続する場合は、以下のアラーム出力接続図を参照してください。

アラーム出力配線図



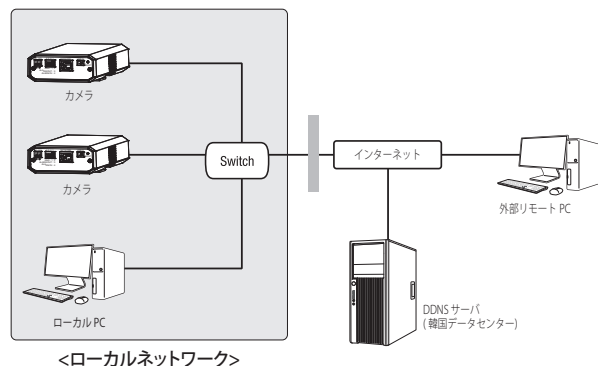
ネットワーク接続と設定

使用中のネットワーク環境に合わせてネットワークを設定することができます。

カメラを直接ローカルネットワークに接続する

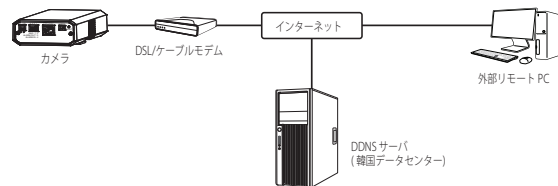
LAN のローカル PC からカメラに接続する

1. ローカル PC でインターネットブラウザを起動します。
2. ブラウザのアドレスバーにカメラの IP アドレスを入力します。



- LAN ネットワーク範囲外の外部インターネットのリモート PC は、ポート転送がきちんと設定されていない場合やファイアウォールが有効の場合には、設置済みカメラとインターネット接続ができない場合があります。この場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 工場出荷時の設定で、IP アドレスが DHCP サーバから自動的に割り当てられます。使用可能な DHCP サーバがない場合、IP アドレスは 192.168.1.100 に設定されます。IP アドレスを変更するためには、Device Manager を使用してください。Device Manager の使い方は、「**Device Manager を使用する**」をご参照ください。(23 ページ)

カメラを直接 DHCP ベースの DSL/ケーブルモデムに接続する



1. ユーザの PC をネットワークカメラに直接接続します。
2. Device Manager を使用して該当カメラの IP アドレスをユーザーのパソコンからインターネットブラウザで接続できる IP アドレスに変更してください。
3. インターネットブラウザを使用して Web Viewer と接続します。
4. [設定] ページに移動します。
5. [ネットワーク] - [DDNS] に移動し、DDNS の設定を行います。
6. [Basic] - [IP & ポート] へ移動し、IP 方式を [DHCP] に設定します。
7. PC から取り外したカメラを直接モデムに接続します。
8. カメラを再起動します。

- DDNS の設定方法についての情報は、ウェブビューアのオンラインヘルプを参照してください。
- IP フォーマットの設定方法についての情報は、ウェブビューアのオンラインヘルプを参照してください。

DEVICE MANAGERを使用する



- Device Manager プログラムは、Hanwha Vision のウェブサイト (<https://www.HanwhaVision.com>) に接続して<顧客支援>-<オンラインツール>でダウンロードすることができます。
- Device Manager の詳しい使い方は、トップの<ヘルプ>メニューで確認することができます。

自動にカメラを検索する

Device Manager がインストールされた PC と同じネットワークにカメラが接続された場合、検索機能でネットワークカメラを探すことができます。

1. Device Manager のトップで<検索>をクリックしてください。
2. 検索リストで検索したいカメラが表示されているか確認してください。
 - カメラに付着されたステッカーで MAC アドレスを確認してください。

IP アドレスを設定する

カメラのネットワーク設定を変更するためには、<状態>項目に<Login OK>と表示される必要があります。Device Manager のトップで<認証>をクリックすると、ログインできます。

Static IP を設定する

IP アドレス & ポート情報を手動で入力して設定します。

1. 検索リストで IP 設定を変更するカメラをクリックしてください。
2. Device Manager のトップで<IP 割り当て>をクリックしてください。
3. <IP アドレス手動割り当て>を選択してください。
 - カメラの IP 情報が既存に設定されている値で表示されます。
4. IP 関連項目 & ポート関連項目を入力してください。

ブロードバンドルーターを使用しない場合

ネットワークマネージャーに<IP アドレス>、<Subnet Mask>、<Gateway>の設定値をお問い合わせください。

- HTTP ポート：インターネットブラウザを使用してカメラにアクセスする際に使用します。初期設定は 80 です。
- RTSP ポート：リアルタイム・ストリーミングを制御するポートであり、初期値は 554 です。

ブロードバンドルーター使用の場合

- IP Address：ブロードバンドルーターによって指定された IP 範囲でアドレスを入力します。
例) 192.168.1.2~254、192.168.0.2~254、192.168.XXX.2~254
- Subnet Mask：ブロードバンドルーターの<Subnet Mask>が、カメラの<Subnet Mask>となります。
- Gateway：ブロードバンドルーターの<Local IP Address>が、カメラの<Gateway>となります。



- 設定は、接続しているブロードバンドルーターのモデルによって異なる場合があります。詳細は、該当するルーターのユーザーマニュアルを参照してください。
- ブロードバンドルーターのポートフォワーディングの詳細については、「ポートフォワード (ポートマッピング) の設定」を参照してください。(25ページ)

ブロードバンドルーターに複数のカメラが接続されている場合

IP に関する設定と、ポートに関する設定は別々に設定します。

例)

	カテゴリ	カメラ #1	カメラ #2
IP 設定	IP アドレス	192.168.1.100	192.168.1.101
	Subnet Mask	255.255.255.0	255.255.255.0
	Gateway	192.168.1.1	192.168.1.1
ポート設定	HTTP ポート	8080	8081
	RTSP ポート	554	555



- <HTTP Port> が 80 以外に設定されている場合、カメラにアクセスするには、インターネットブラウザのアドレスバーで<Port>番号を設定する必要があります。
例) http://IP アドレス: HTTP ポート
http://192.168.1.100:8080

5. [適用] ボタンをクリックしてください。
6. 成功確認メッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてください。

ネットワーク接続と設定

ダイナミックIPを設定する

IPアドレスをDHCPで自動的に割り当てられます。

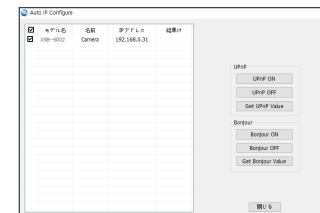
- 動的IP環境の例
 - カメラに接続しているブロードバンドルーターが、DHCPサーバーでIPアドレスを割り当てられている場合
 - DHCPプロトコルを使用して直接カメラをモデムに接続する場合
 - IPがLAN経由で内部DHCPサーバーに割り当てられている場合

- 検索リストでIP設定を変更するカメラをクリックしてください。
- Device Managerのトップで<IP割り当て>をクリックしてください。
- <IPアドレス自動割当(DHCP)>を選択してください。
- [適用]ボタンをクリックしてください。
- 成功確認メッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックしてください。



自動にIPを設定する

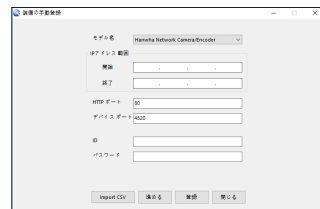
- 検索リストでIPを自動に設定するカメラをクリックしてください。
- Device Managerのトップで<+>をクリックしてください。
 - デバイス設定メニューが表示されます。
- デバイス設定メニューで<Auto IP Configure (IP自動設定)>をクリックしてください。
- [閉じる]ボタンをクリックしてください。



手動でカメラを登録する

検索機能でカメラを探せなかったり、外部ネットワークにカメラを接続した場合、IP情報を手動で入力してリモートでカメラを探して登録することができます。

- Device Managerのトップで<デバイス追加>-<装備の手動登録>をクリックしてください。
- 検索するIPアドレス範囲を入力してください。
- 登録するカメラの<モデル名>を選択してHTTPポート、ID、パスワードを入力してください。
- [登録]ボタンをクリックしてください。
- リストでカメラが登録されているか確認してください。
 - カメラに付着されたステッカーでMACアドレスを確認してください。

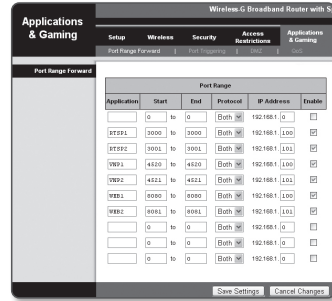


ートフォワード (ポートマッピング)の設定

カメラを接続したままブロードバンドルーターをインストールした場合は、ブロードバンドルーター上でポート範囲フォワードを設定し、ルーター内のカメラにリモートPCからアクセスできるようにする必要があります。

手動ポートフォワード

- ブロードバンドルーターの設定メニューから**Applications & Gaming** - **<Port Range Forward>**を選択します。
サードパーティのブロードバンドルーター用にポートフォワードを設定するには、ブロードバンドルーターのユーザーマニュアルを参照してください。
- ブロードバンドルーターに接続されている各カメラ用の、**<TCP>**と**<UDP Port>**を選択します。
IPルーターに設定する各ポートの数字は、カメラWeb Viewerの**設定** - **<Basic>** - **<IP & ポート>**に指定されるポート番号に合わせて設定しなければなりません。
- 完了後、**[Save Settings]**をクリックします。
設定が保存されます。

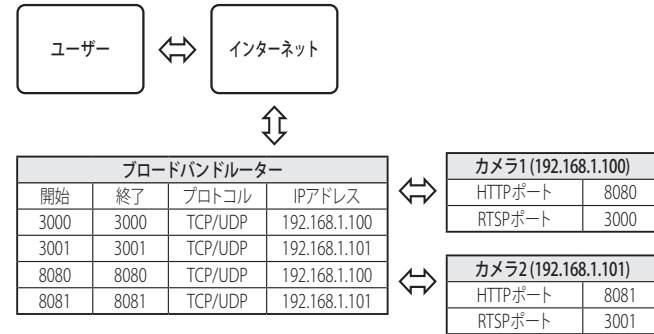


- ポートフォワーディング設定の説明は、CISCO IPのルーターで設定した例示です。
- 設定は、接続しているブロードバンドルーターのモデルによって異なる場合があります。
詳細は、該当するルーターのユーザーマニュアルを参照してください。

複数のネットワークカメラに関するポートフォワード範囲設定

- ブロードバンドルーターデバイスの設定Webページで、ポートフォワーディングのルールを設定することができます。
- ユーザーは、カメラ設定画面を使って各ポートを変更できます。

カメラ1とカメラ2がルーターに接続されている場合:



- ルーターがUPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) 機能をサポートしている場合、ポートフォワーディングを追加ルーターの設定なしで行うことができます。
ネットワークカメラ接続後、メニューから、**設定 -> ネットワーク -> DDNS**の**<DDNS>**の**<クイック接続>**のチェックボックスを選択します。

ネットワーク接続と設定

共有ローカルPCからカメラへの接続

1. Device Managerを起動してください。
接続されているカメラをスキャンし、そのリストを表示します。
2. アクセスするカメラをダブルクリックします。
インターネットブラウザが起動し、カメラに接続されます。



- インターネットブラウザのアドレスバーに検出されたカメラのIPアドレスを入力し、カメラにアクセスすることもできます。

リモートPCからインターネット経由でのカメラへの接続

IPルーターのネットワーククラスター外部のリモートパソコンでは、ユーザーがカメラのDDNS URLを用いてIPルーターのネットワーク内部にあるカメラにアクセスすることができます。

1. ブロードバンドルーターのネットワーク内のカメラへアクセスする前に、ブロードバンドルーターにポートフォワードを設定しておく必要があります。
2. リモートPCから、インターネットブラウザを起動しカメラのDDNS URLアドレスを入力するか、アドレスバーでブロードバンドルーターのIPアドレスを入力します。
例) <http://ddns.hanwha-security.com/ID>

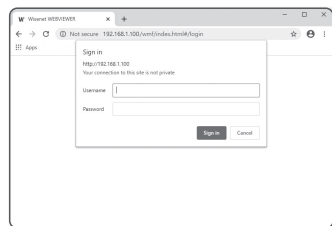


- DDNSを有効にするためには、DDNSのウェブサイト(<http://ddns.hanwha-security.com>)で会員登録をした後、**[My DDNS]>[製品登録]**で先に製品を登録する必要があります。

カメラへの接続

通常の方法

1. インターネットブラウザを起動します。
2. アドレスバーにカメラのIPアドレスを入力します。
例) • IPアドレス(IPv4): 192.168.1.100 → http://192.168.1.100
- ログインダイアログが表示されます。
• IPアドレス(IPv6): 2001:230:abcd:ffff:0000:0000:ffff:1111
→ http://[2001:230:abcd:ffff:0000:0000:ffff:1111] - ログインダイアログが表示されます。



HTTPポートが80以外の場合

1. インターネットブラウザを起動します。
2. アドレスバーにカメラのIPアドレスとHTTPのポート番号を入力します。
例) IPアドレス: 192.168.1.100:HTTPのポート番号(8080)
→ http://192.168.1.100:8080 - ログインダイアログが表示されます。

URLを使用する場合

1. インターネットブラウザを起動します。
2. アドレスバーにカメラのDDNS URLを入力します。
例) URLアドレス: http://ddns.hanwha-security.com/ID
- ログインダイアログが表示されます。

❗ ■ ネットワーク接続はLANのみの環境では無効になります。

UPnPを介した接続

1. UPnPプロトコルをサポートするために、クライアントまたはオペレーティングシステムを実行します。
2. 検索するカメラ名をクリックします。
Windowsオペレーティングシステムでは、ネットワークメニューから検索したカメラ名をクリックします。
- ログインウィンドウが表示されます。

Bonjourを介した接続

1. Bonjourプロトコルをサポートするためにクライアントまたはオペレーティングシステムを実行します。
2. 検索するカメラ名をクリックします。
Macのオペレーティングシステムでは、SafariのBonjourタブから検索したカメラ名をクリックします。
- ログインウィンドウが表示されます。

DDNSアドレスを確認するには

カメラが直接DHCPケーブルモデムまたはDSLモデムと接続している場合には、ISP (インターネットサービスプロバイダ) サーバーに接続するたびにネットワークのIPアドレスが変更されます。

その場合、DDNSによるIPアドレスの変更は通知されません。

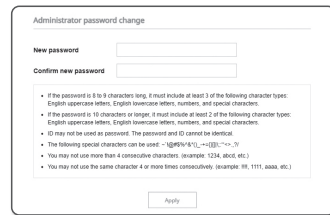
動的なIPベースのデバイスをDDNSサーバーに登録すると、そのデバイスにアクセスするときに、変更されたIPを簡単に確認することができます。

使用するデバイスを<DDNS>サーバーに登録するには、http://ddns.hanwha-security.comにアクセスして最初にデバイスを登録し、Web Viewerの<ネットワーク> - <DDNS>に設定し、DDNS登録に使用した<製品ID>を指定します。

パスワード設定

本製品を初めて使用する場合、ログインパスワードを登録する必要があります。

- 新しいパスワードが8～9桁の場合、以下のうち3種類以上を使用する必要があります：大文字/小文字、数字、特殊文字。パスワードが10～15桁の場合、2種類以上を使用する必要があります。
 - 認められている特別文字：~!@#%&*()_+={}|~\`<>./
- パスワードを設定時、スペースは使用できません。
- 安全性を高めるため、同じ文字を繰り返したり、キーボード上の連続した文字を入力したりするのはお勧めしません。
- パスワードをなくした場合、[RESET]を押して製品を初期化します。そのため、メモ帳を利用したり、記憶したりして、パスワードをなくさないようにしてください。



Administrator password change

New password:

Confirm new password:

• If the password is 8 to 9 characters long, it must include at least 3 of the following character types: English uppercase letters, English lowercase letters, numbers, and special characters.
• If the password is 10 characters or longer, it must include at least 2 of the following character types: English uppercase letters, English lowercase letters, numbers, and special characters.
• ID may not be used as password. The password and ID cannot be identical.
• The following special characters can be used: ~!@#%&*()_+={}|~\`<>./
• You may not use more than 4 consecutive characters (example: 1234, abcd, etc.)
• You may not use the same character 4 or more times consecutively (example: 99, 1111, aaaa, etc.)

Apply

ログイン

カメラにアクセスするたびに、ログインウィンドウが表示されます。ユーザーIDとパスワードを入力してカメラにアクセスします。

1. <User name>入力ボックスに“admin”と入力します。
管理者のIDである“admin”は、Web Viewerで変更できます。
2. <Password>入力欄に入力します。
3. [Sign in]をクリックします。
正常にログインすると、Live Viewerの画面が表示されます。

- カメラのWebビューアーにアクセスする場合は、画像データが暗号化されているを確認し、セキュリティに特にご注意ください。

- 画面サイズが100%である場合、映像画質が最高の状態になります。倍率を小さくすると、境界線上の画像がカットされます。



Sign in
http://192.168.1.100
Your connection to this site is not private.

Username:

Password:

Sign in Cancel

カメラ・ウェブビューアーの設定

1. [設定 (⚙️)]アイコンをクリックします。
2. 設定画面が現れます。
3. カメラの基本情報、ビデオ、オーディオ、ネットワーク、イベント、分析、ネットワーク全体のシステムの設定を構成することができます。
4. <ヘルプ (❓)> をクリックして、それぞれの機能の詳細説明を表示します。

トラブルシューティング

問題	解決策
Windows 10ユーザーがChromeまたはFirefoxからウェブビューアにアクセスする場合、マイクロフォンの音声ボリュームは周期的に変わります。	これは、マイクロフォンのドライバをRealtekドライバに設定している場合に生じます。High Definition Audioデバイス (Windowsの標準ドライバ) またはサードパーティ製のドライバをマイクロフォン用のドライバとしてインストールします。
Safariを使用してHTTPS経由でプラグインフリーのWeb Viewerにアクセスすると、映像は表示されません。	- https初回接続時に表示されるウェブサイトの認証ポップアップで<証明書の表示>をクリックした後、<Webビューアの設定IPに接続する際、常に信頼する>の項目のチェックボックスを選択してください。 - 以下のメッセージウィンドウで「次へ」を選択した後にWeb Viewerでの表示に失敗する場合、commandキー + Qを押してSafariブラウザを終了し、再度アクセスして上述の手順に従います。
ウェブブラウザからカメラにアクセスできない。	- カメラのネットワーク設定が適切を確認します。 - ネットワークケーブルがすべてきちんと接続されているか確認します。 - DHCPを使用して接続した場合、カメラが問題なく動的IPアドレスを取得できたか確認します。 - カメラがブロードバンドルーターに接続している場合、ポート転送がきちんと設定されているか確認します。
閲覧中にビューアが遮断された。	- カメラまたはネットワーク設定に変更が生じた場合、接続済みビューアは遮断されます。 - ネットワーク接続をすべて確認します。
Device Managerプログラムでネットワークに接続されたカメラが検索できません。	使用中のPCのファイアウォールを無効にし、カメラを再検索してください。
画像がオーバーラップする。	複数のカメラが個々のアドレスではなく、単一のマルチキャストアドレスに設定されているか確認します。複数のカメラが単一アドレスを使用すると、画像がオーバーラップする原因になります。
画像が表示されない。	送信方法がマルチキャストに設定されている場合、カメラが接続しているLANにマルチキャストに対応しているルータがあるか確認します。
音声入力を設定している場合でも、音声は録音されません。	<基本> - <ビデオプロファイル> の <音声入力> チェックボックスを有効にしなければなりません。

問題	解決策
<アナリティクス>の<モーション検知>は<イベント>に設定されていますが、分析イベントが発生したときであっても、通知用のEメールは到着しません。	- 設定を次の順序で確認します。 A. <日付 & 時間>設定をチェックします。 B. <モーション検知>が<使用>に設定されていることを確認します。 C. <イベント設定>メニューの<E-mail>オプションが選択されて使用可能になっているかどうか確認してください。
インテリジェント映像分析イベントが生成されていても、アラーム出力ポートに信号が検出されません。	アラーム出力ポートの設定をチェックしてください。
Micro SDカードに録画できません。	- メモ리카ードに問題がないか確認してください。 - Micro SDカードを交換する場合は、本製品の電源を切った状態で行う必要があります。
Micro SDカードを挿入しても、カメラが正しく動作しません。	- Micro SDカードが正しい方向で挿入されているかを確認してください。他のデバイスで初期化されたMicro SDカードの場合は、このカメラ装置で正常に動作しない可能性があります。 - Micro SDカードを<設定> → <イベント> → <ストレージ>メニューで再度初期化してください。
NASに記録できません。	NASに登録した情報が正しいことを確認します。
NAS設定が失敗したと報告が出ています。	- NASのIPアドレスが有効であること。 - NASのID/パスワードが有効であること。 - NASのIDを使う基本フォルダに指定したフォルダにアクセスできること。 - NAS SMB/CIFSの項目をチェックしていないこと。 - NAS IPアドレスとカメラIPアドレスが同じフォーマットであることを確認します。 例) NASとカメラのサブネットマスク値は255.255.255.0です。 IPアドレスが192.168.20.32である場合、NAS IPアドレスは192.168.20.1～192.168.20.255の範囲にある必要があります。 - 保存または使用する基本フォルダを初期化せずに、別のユーザーとして利用しようとしていたかを確認します。 - 推奨されているNAS装置を使用したかどうか確認します。



Hanwha Visionでは環境保護のため、製品製造の全工程で環境に配慮しており、より環境に優しい製品をお客様にお届けするため数多くの措置を講じています。
エコマークは、環境に優しい製品を創り出すHanwha Visionの意志を表すとともに、それらの製品が欧州RoHS指令に準拠していることを示しています。

